



ウイトラレポート 2011年12月号

「 拡張現実の現状 」

はじめに

今月は拡張現実の現状について報告する。このテーマは2009年9月のウイトラレポートで取り上げているが、2年間でどのように実用化が進んできたかを見るのが目的である。現実には、当時の私の予想よりも実用化のペースは遅く、現状ではまだ大きな話題を呼ぶビジネスには至っていない。しかし、実用化に向けての環境整備は整ってきていると感じる。拡張現実は今私が取り組んでいる標準化という観点からも今がチャンスだと思っているので、私の考える拡張現実の実用化への流れを示して読者の意見を問うことにしたい。